科目名	応用測量				
担当教員	佐藤　雅男・稲田　巧		実務授業の有無	○	
対象学科	環境測量科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	64時間
授業概要、目的、授業の進め方	社会に出ると応用測量作業が多くを占める。今まで学んできた基礎的な測量技術を確認しながら、より実践的な測量技術をしっかりと身に着ける。				
学習目標（到達目標）	今まで学んできた基礎的な測量知識を確認しながら、より実践的な測量学を理解し測定及び計算できるようにする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	受験テキスト　：日本測量協会　　プリント、資料を配布する。				

NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	路線測量①	路線測量の基礎、路線の構造、中心線測量、ＩＰの設置、仮ＢＭ設置測量、縦断測量、横断測量について理解する
2	路線測量②	単曲線、クロソイド曲線、縦断曲線の基本的な計算ができるようになる。
3	河川測量	河川測量の基礎、高低測量（縦断・横断・深浅測量）、流量測定について理解する
4	工事測量	工事測量基礎を学び、盛土・切土・側溝などの工事に必要なやり方（丁張）を設ける方法について理解する
5	用地測量	用地測量の目的及び重要性を理解し、境界線の整正計算が出来るようにする

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
期末試験、確認テスト、提出物、平常点で総合的に判断し評価する。 本試験60%、確認テスト20%、提出物10%、平常点10%　　成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。	土木・測量業界ともに、社会に出ると応用測量作業が多くを占めるので、確実な技術を身につけよう。 ※全部で６項目上げているが、天候に左右される実習を優先させる。そのため、順序を変更することもある。

実務経験教員の経歴	建設会社にて施工管理及び測量業務17年・測量会社にて測量業務24年